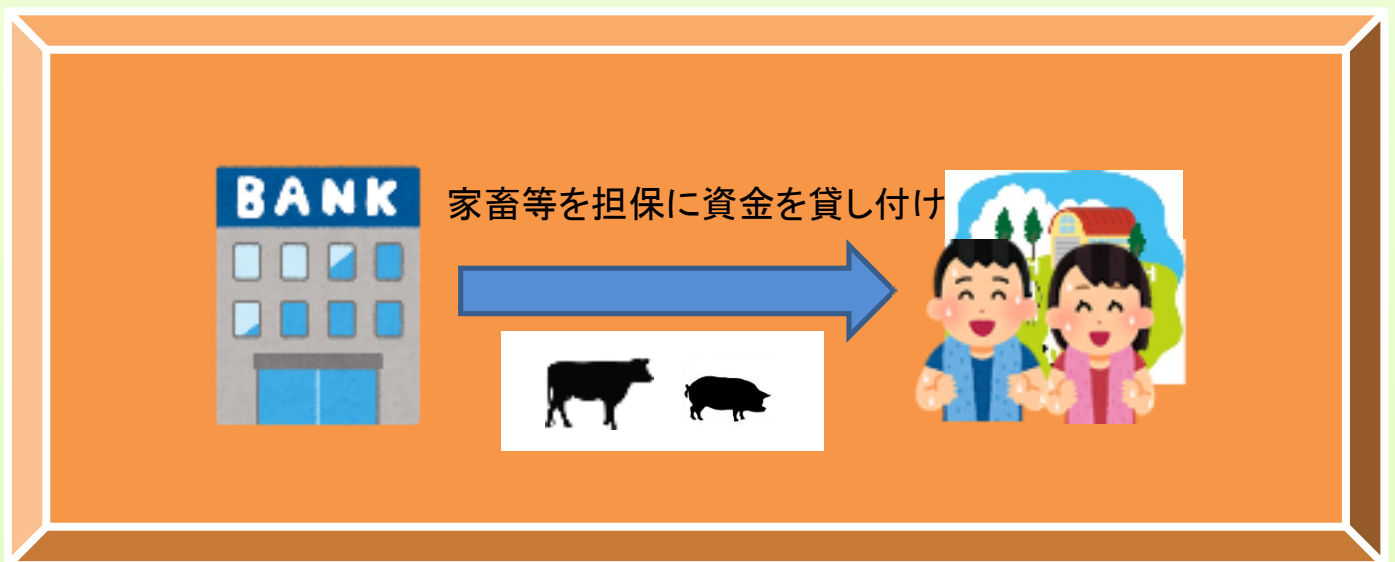


家畜等を担保に お金が借りられます！



不動産担保や保証に過度に依存しない
新たな融資手法として注目！

畜産ABL
【畜産動産担保融資】

公益社団法人中央畜産会



畜産ABLは、どんな時に使えるの？

こんな時に役立ちます



家畜を増やしたい



増頭資金の確保

頭数を200頭から300頭に増やしたい、でも増頭資金が不足

👉 購入する牛や飼っている牛を担保にして
資金を借りることができます

近隣の農場を買いたい



スムーズな農場一括譲り受け

近隣の農場を買い取りたい、でも買い取るための資金が不足

👉 買い取る家畜や不動産・施設を一括して担保にして
資金を借りることができます

運転資金を調達したい



経営の持続

運転資金が必要、でも担保不足で十分に借りることができない

👉 飼っている家畜を担保にして資金を借りることができます

この他にもいろいろなケースに畜産ABLは対応できますので、
まずは、ご相談ください！



畜産ABLを利用する場合、何をしなければいけないの？

家畜の飼養管理状況を定期的に報告していただきます

※基本的に毎月です



でも、複雑なものではありません
最低限、次のような項目を報告いただくことができれば、借入は可能です



【導入時の情報】

牛個体識別番号、性別、血統、導入日・単価・体重

【出荷時の情報】

出荷日、枝肉重量、出荷価格、枝肉格付け、BMS等

※必要な情報や報告時期は金融機関によって異なります



うちでも、表計算ソフトを使って毎月のデータを入力してみよう

定期的な報告によって、経営上の課題も早めに察知することができます



畜産ABLのメリット

- ①飼養頭数を増加するための資金が調達しにくい場合でも、資金調達が可能
- ②不動産担保の評価額が必要額を下回っても、資金調達が可能
- ③家畜飼養状況などの定期的な報告により、経営管理の強化に役立つ

資金調達時も調達後も専門機関がサポートします！



(資金調達時)

- 経営状況や担保家畜の飼養状況・評価額の把握・整理をお手伝いします

(資金調達後)

- 金融機関に定期報告する情報の収集と集計・分析をお手伝いします
- 情報を基にした経営の課題点等についてアドバイスします

※中央畜産会は、道府県畜産協会をはじめ畜産経営体の分析・指導等の専門機関との連携による畜産ABL普及推進に努めています